

令和元年度第2回千葉市救急業務検討委員会

日時：令和元年2月20日（木）

19時00分～20時30分

場所：千葉市消防局（セーフティーちば）

7階「作戦室」

次 第

1 開会

2 議事概要報告

「令和元年度第1回千葉市救急業務検討委員会」議事概要

3 議題

救急現場における心肺蘇生を望まない傷病者への対応について

4 報告

(1) 報告1 千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」について

(2) 報告2 令和元年主要業務（事後検証、指示・指導及び助言、教育）の実施状況について

5 その他

令和2年度第1回千葉市救急業務検討委員会の開催予定について

6 閉会

令和元年度第2回千葉市救急業務検討委員会席次表

織田 成人委員長

○

傍
聴
席

中田 孝明委員○

○斎藤 幸雄委員

涌井 健治委員○

○石橋 巖委員

福田 和正委員○

○中田 泰彦委員

谷嶋 隆之委員○

○景山 雄介委員

寺井 勝委員○

○中村 真人委員

山本 恭平委員○

(県) 消防課
○林副課長

(市) 健康企画課
堀主査○

(県) 消防課
○小山主事

(市) 健康企画課
堀内主任主事○

(県) 医療整備課
○山崎室長

(市) 病院局経営企画課
嶋田主査○

(県) 医療整備課
○松江川主事

入
ロ
ド
ア

○ 鮫島補佐

○ 手塚部長

○ 兼巻局長

○ 吉田課長

○ 宮崎士長

○ 深山係長

○ 新濱係長

○ 川畑司令補

○ 小西司令補

令和元年度第1回千葉市救急業務検討委員会

議 事 概 要

1 日 時 令和元年6月6日（木）19時00分から20時30分まで

2 場 所 千葉市中央区長洲1丁目2番1号
千葉市消防局（セーフティーちば）7階 作戦室

3 出席者

(1) 委 員（11人）

織田 成人委員長、石橋 巖委員、斎藤 幸雄委員、中田 孝明委員、景山 雄介委員、中田 泰彦委員、浅井 隆二委員、福田 和正委員、谷嶋 隆之委員、寺井 勝委員、中村 真人委員

(2) 事務局

兼巻局長、手塚警防部長、吉田救急課長、鮫島救急課長補佐、深山救急管理係長、新濱高度化推進係長、鈴木司令補、川畑司令補、小西司令補、宮崎士長、玉井士長

(3) オブザーバー

千 葉 県：林副課長（防災危機管理部消防課）
 小山主事（防災危機管理部消防課）
 山崎室長（健康福祉部医療整備課）
 松江川主事（健康福祉部医療整備課）
千 葉 市：森田救急集中治療科統括部長（青葉病院）
 堀主査（保健福祉局健康部健康企画課）
 堀内主任主事（保健福祉局健康部健康企画課）
 嶋田主査（病院局経営企画課）

4 会議内容

(1) 議事概要報告

「平成30年度第2回千葉市救急業務検討委員会」議事概要

(2) 議題

消防ヘリによるドクターピックアップ方式での救急活動及びCOMET出動時における医師による指示等について

(3) 報告

- ア 報告1 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施について
- イ 報告2 千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」について
- ウ 報告3 次期救急情報共有システムの開発委託について

5 議事概要

(1) 「平成30年度第2回千葉市救急業務検討委員会」議事概要

平成31年2月19日（火）に開催された平成30年度第2回千葉市救急業務検討委員会の議事概要は、令和元年度第1回千葉市救急業務検討委員会の会議資料として、事務局から各委員宛てに事前配布されていたことから、議事概要に関する疑義、意見等なく了承された。

(2) 議題「消防ヘリによるドクターピックアップ方式での救急活動及びCOMET出動時における医師による指示等について」は、事業を運用するに当たり、現在は指示、指導及び助言を指令センターの常駐医師を介し行っているが消防ヘリ及びCOMET搭乗の医師に傷病者情報が伝わりにくいことから、今後は、ドクターピックアップ方式での救急活動及びCOMET出動時における医師による指示等を現場に出向する医師に変更することで、一本化して情報伝達の円滑化を図るとともに、常駐医師には後刻に事故概要及び活動内容について報告することで承認された。

(3) 報告1「傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施について」は、消防庁の動向、他都市の状況及び本市の現状について事務局から報告があった。

(4) 報告2『千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業について」』は、本事業の運用結果及び現状について事務局から報告があった。

(5) 報告3「次期救急情報共有システムの開発委託について」は、次年度から運用予定となっている本システムの開発委託の状況について事務局から報告があった。

議題

救急現場における心肺蘇生を望まない傷病者への対応について

議案要旨

令和元年度第1回救急業務検討委員会後の消防庁の動向並びに他都市の状況等について御報告するとともに、本市における今後のDNARに関する救急活動について御審議いただくものです。

※DNAR(do not attempt resuscitation):心停止時に心肺蘇生を行わない指示

救急現場における心肺蘇生を望まない傷病者への対応について

令和元年度第1回千葉市救急業務検討委員会において、本市の現状は、DNARに関する取決め、活動マニュアルはないが、救急現場では柔軟な対応がされており、事故、問題等は報告されていないことから、消防庁及び他都市の動向を注視していくこととなった。



国(消防庁)の動き

令和元年11月8日救急企画室長通知「『平成30年度救急業務のあり方に関する検討会傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施に関する検討部会』報告書について(通知)』」

- ・今回の調査では実態が明らかになっていない。
- ・将来的には、国民の意見の動向や人生の最終段階における医療・ケアに関する取組状況等を見ながら、このような事案に係る救急隊の対応の標準的な手順等について検討を進めていくべきである。

⇒結論は先送りされた。

他都市の動き ⇒大きく分けると3通り

- ①かかりつけ医に連絡後、CPRを中止してかかりつけ医等に傷病者を引き継ぐ。
- ②救命を主眼として(他のCPA傷病者と同様に)対応するとの取決めあり。
- ③取決め対応なし又は他都市の動向を注視

千葉市の対応

・令和元年10月下旬、救急隊の隊長(約100人)に意見交換を実施。救急現場では、柔軟な対応がされているものの、DNARに関する取決めについて多くの要望があった。



本市の法規担当(政策法務課)に相談

- ・消防法上の救急業務の観点から、搬送しなかったことによる訴訟リスクは発生する。特に死に至った場合は搬送した時と比べハイリスクである。
- ・医療機関では医師と患者とで継続した契約行為で成り立っている。一方、救急隊は119番通報により緊急な対応が求められており、その中でDNARの確認・判断をさせることは、現時点では救急隊員にとって負担が大きい。
- ・ACP(人生会議)により患者に寄り添うことも大切なことではあるが、そもそも患者自身が事前にDNARであることを、周りの方によく理解してもらうことが重要。よって、このようなケースにおいて119番通報をさせない取組みが先ではないか。



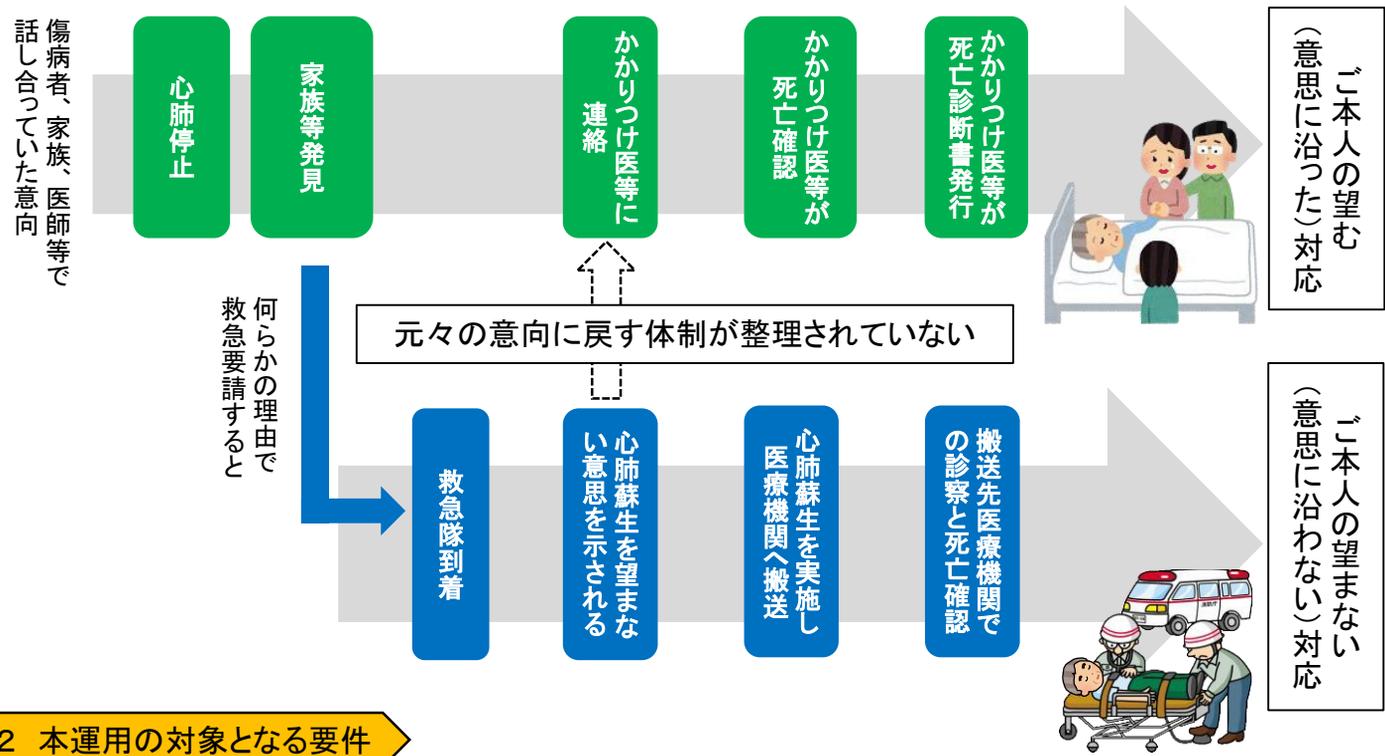
救急現場では、DNARに関する取決めについて要望があるものの、ACPにより患者に寄り添う活動を現状の消防法上で実施することは、救急隊員に大きな負担を負わせることが確認された。よって、今後国が何らかの方向性を示した場合に、再度検討することとし、常駐医師等と連携して、現状に沿った柔軟な対応を目指したい。

また、関係部署と連携して、DNAR傷病者の家族等に対して傷病者の意思に沿って119番通報が必要か否かを事前に説明する方法についても検討していきたい。

心肺蘇生を望まない傷病者への対応について

1 背景

- 人生の最終段階にある傷病者の中には、事前に家族等や医療・ケアチームと話し合い（ACP：愛称「人生会議」）、自分が心肺停止となった時に「心肺蘇生を実施しない意思」を持つ方がいます。
- 心肺停止時には、家族等関係者がかかりつけ医等に連絡して、御自宅等でお看取りをすることが話し合われていれば、本来ならば救急隊が介入することはありません。
- 実際には、慌ててしまった家族等関係者が救急要請する場合があります。
- 現行の制度では、救急隊は心肺蘇生を実施して医療機関に搬送することになります。
- こうした現状を踏まえて、可能な限り傷病者の意思を尊重できるように体制を整理しました。



2 本運用の対象となる要件

- 1 ACP実践下の成年で心肺停止状態にあること**

解説
ACPが行われていない場合は含まれません。未成年や心肺停止前の傷病者は含まれません。
- 2 傷病者が人生の最終段階にあること**

解説
回復不可能な疾病の末期、例えば悪性腫瘍の末期にある傷病者が対象となります。
- 3 傷病者本人に「心肺蘇生の実施を望まない意思」があること**

解説
家族等の意思ではなく、あくまでACPに基づく傷病者本人の意思があった場合が対象となります。
- 4 傷病者本人の意思決定に際し想定された症状と現症が合致していること**

解説
外因性（不慮の事故や窒息等）が疑われる心肺停止は、対象とはなりません。

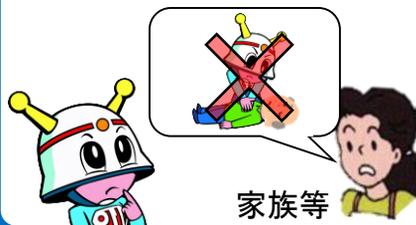
- 救急隊から「かかりつけ医等」に連絡して、これらの項目を確認させていただき、心肺蘇生を中断し、「かかりつけ医等」又は「家族等」に傷病者を引き継ぐこととしました。
- 救急隊は、かかりつけ医等が上記項目を判断するために必要な情報を伝達します。

3 運用の細部

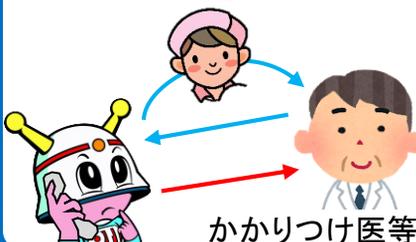
- ①心肺停止の確認
- ②心肺蘇生の実施と情報聴取



- ③傷病者本人に「心肺蘇生の実施を望まない意思」があることを示される



- ④直接又は訪問看護師等を経由してかかりつけ医等に連絡し、傷病者の意思に誤りがないかを確認する



- ⑤かかりつけ医等が到着するまでの時間を確認する
- ⑥引き継げる場合に限り、かかりつけ医等から心肺蘇生の中止及び不搬送の指示を受けて心肺蘇生を中止する



心肺停止の確認

○ 心肺停止を確認した場合には、速やかに心肺蘇生を開始します。

解説

○ 救急隊の使命である救命に主眼をおいた活動を行うためです。

補足

○ 明らかに死亡している場合には、現行のとおり警察官を要請し、傷病者本人に「心肺蘇生の実施を望まない意思」があることを示された場合には、かかりつけ医等に連絡します。

意思確認の方法

○ 書面に限らず口頭の情報提供も対象に含みます。また、現場にいない家族等からの電話や、ACPに参与していない友人、隣人等からの口頭の情報提供も対象に含みます。

解説

○ 伝えられる方法によらず、救急隊が短時間でその内容を適切に評価することが困難であることから、傷病者本人の「心肺蘇生の実施を望まない意思」の確認は**必ずかかりつけ医等**に行います。そのため、情報提供の方法は書面に限定しません。ただし、書面だけを見て、かかりつけ医等に連絡せずに心肺蘇生を中止することはありません。

かかりつけ医等への確認項目

○ 救急隊から先生に救急現場の状況を説明し、次の項目を確認します。

- ・傷病者が**人生の最終段階**にあること
- ・傷病者本人に「**心肺蘇生の実施を望まない意思**」があること
- ・傷病者本人の意思決定に際し想定された症状と**現症が合致**していること

補足

○ 救急隊からの報告内容のみでは、上記項目を判断できない場合には、必要な情報を救急隊から聴取してください。
○ かかりつけ医等への連絡には、訪問看護ステーション等を活用するなど様々な方法で連絡します。

かかりつけ医等又は家族等への引継ぎ

- おおむね**45分以内**にかかりつけ医等が到着できる場合
医師の到着を待ち、直接引き継がせていただきます。また、医師の指示及び家族等の同意があれば、家族等に引き継がせていただきます。
- おおむね**12時間以内**にかかりつけ医等が到着できる場合
医師の指示及び家族等の同意を得て、家族等に引き継ぎます。

解説

○ 45分という時間は、在宅医の往診料が保険診療として認められる距離から算定しました。
○ 12時間という時間は、厚生労働省の死亡診断書記入マニュアルに記載されている事例から算定しました。

4 留意事項

- 直接又は訪問看護師等を経由してもかかりつけ医等に連絡がつかない場合や、家族等又はかかりつけ医等に傷病者を引き継げない場合等は、心肺蘇生を継続して2次医療機関等に搬送します。
- 心肺蘇生を実施しない、死亡確認や死亡診断のための搬送は、総務省消防庁から「救急業務に該当しないと考えられる」との見解が示されているため、医療機関に搬送することはできません。
- 心肺蘇生の中止は**医師が直接行った指示**に従います。医師以外の医療従事者（看護師、介護老人福祉施設職員等）からの指示や、伝聞による指示には対応できません。
- 傷病者本人に「心肺蘇生の実施を望まない意思」があることを示された事案は、すべて医師検証の対象とします。東京都MC協議会の事後検証委員会等により、適宜**運用要領を見直し**ていきます。

報告 1

千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」について

報告要旨

平成29年度に開始した千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」における今年度の実施状況等について報告するものです。

- 資料 1-1 千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」実施状況
- 資料 1-2 千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」意見聴取結果
- 資料 1-3 【参考】夜間内科二次救急体制運用状況

1 事業概要

消防法第35条の5第2項第6号(以下「確保基準」という。)の規定により、傷病者の搬送困難事例を解消させるため、県が平成29年8月から事業を開始。

2 運用方法

年度	期間	医療機関数	適用症例		運用方法
			照会回数	時間	
H29	8~3月	3医療機関 一時受入医療機関 2 ・千葉中央メディカル・みつわ台総合 最終受入医療機関 1 ・千葉大学	6回目から※		一時受入は 当番日制 奇数日は千葉中央メディカル →みつわ台総合の順に照会 (偶数日は逆順) 最終受入は一時受入からの転送を受入
H30	8~3月	6医療機関 最終受入医療機関 6 ・市立青葉・市立海浜・千葉大学 ・千葉中央メディカル・千葉メディカル ・みつわ台総合	5回目から※	照会開始から30分以上経過	直近順に照会(標榜科・当直医師情報を考慮) 活用するも未決定の場合は、県救急医療センター及び千葉大学に照会
H31 R01	4~3月	5医療機関→6医療機関 最終受入医療機関 5→6 ・市立青葉・市立海浜・千葉中央メディカル・千葉メディカル・みつわ台総合 +11月~千葉医療センター	5回目から※		

※緊急度・重症度「高」は3回目から

3 運用状況

R2.1末現在速報：消防局警防部救急課 資料 1 - 1

※1日当たりの搬送数を除き、転院搬送、家族等連絡済みのものを除外している。

※各数値は個々のデータを再計算して算出している。

【6号基準適用時の受入状況(平成29年度)】

H29.8~ H30.3計	照会			受入 (転送・電話確認を含む)			受入率 (921人中707人受入→76.8%)			千葉大への転送 (受入の内数)			
	計	1回目	2回目	計	1回目	2回目	計	1回目	2回目	計	1回目	2回目	電話
千葉中央メ	549	465	84	331	300	31	60.3%	64.5%	36.9%	10	7	2	1
みつわ台総	569	456	113	376	329	47	66.1%	72.1%	41.6%	17	10	0	7
計	1,118	921	197	707	629	78	63.2%	68.3%	39.6%	27	17	2	8

【6号基準適用も受入れに至らなかった場合における収容先(計214人)】

千葉大学医	63	千葉中央メ	14
みつわ台総	3	計	80

→受入率(実質)85.5%

受入確保基準照会状況(千葉市消防局：H30.8.1~H31.3.31)【集計結果(確定)】

全対象数	[A+C+D]...①	27,251	平均208件/月		
受入確保基準適用	[A+B]...②	1,667	適用率 [②/①]	6.12%	参考:協力7医療機関受入率
6医療機関受入数	[A]...③	1,422	受入率 [③/②]	85.3%	[(③+E)/②] 88.4%

受入確保基準照会状況(千葉市消防局：H31.4.1~R02.1.31)【集計結果(速報)】

全対象数	[A+C+D]...①	35,190	平均165件/月	約2割減少	
受入確保基準適用	[A+B]...②	1,654	適用率 [②/①]	4.70%	参考:協力8医療機関受入率
6医療機関受入数	[A]...③	1,308	受入率 [③/②]	79.1%	[(③+E)/②] 87.8%

平均照会数・8回以上照会率ともに
年々改善傾向

約9割を確保

●平均照会回数・照会5回・8回・10回以上の割合・1日当たりの搬送数の状況(H26~R2.1)

H26
全平均照会2.03回
8回以上2.7%

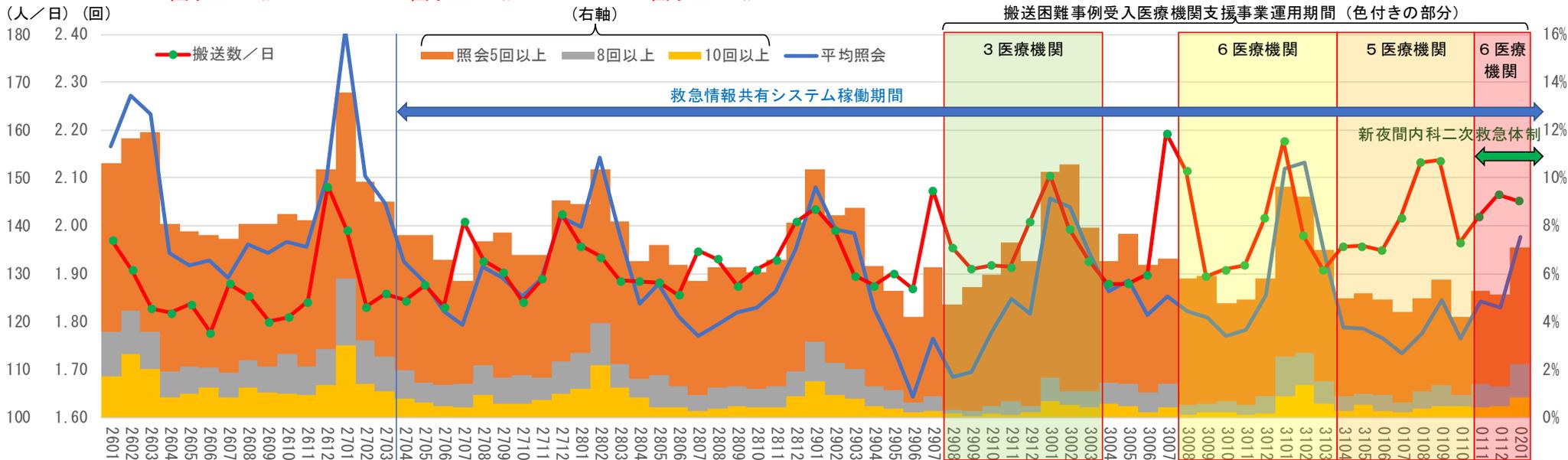
H27
全平均照会1.96回
8回以上2.3%

H28
全平均照会1.89回
8回以上1.8%

全平均照会1.85回
8回以上0.75%

全平均照会1.90回
8回以上1.23%

全平均照会1.80回
8回以上1.17%

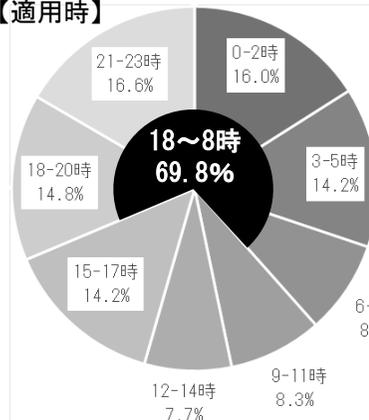


●各種データ (R1. 11分)

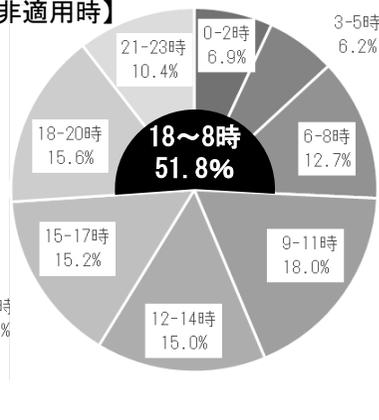
※受入は6医療機関のみが対象

時間帯別	全対象	適用	適用/ 全対象	受入	受入/ 適用	照会	受入/ 照会
0-2	254	27	10.6%	16	59.3%	68	23.5%
3-5	226	24	10.6%	21	87.5%	68	30.9%
6-8	429	14	3.3%	10	71.4%	35	28.6%
9-11	603	14	2.3%	14	100.0%	26	53.8%
12-14	505	13	2.6%	12	92.3%	26	46.2%
15-17	524	24	4.6%	21	87.5%	52	40.4%
18-20	537	25	4.7%	16	64.0%	52	30.8%
21-23	370	28	7.6%	25	89.3%	60	41.7%
計	3,448	169	4.9%	135	79.9%	387	34.9%

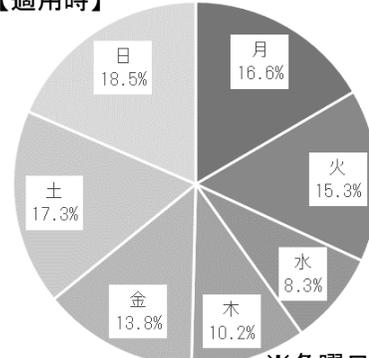
【適用時】



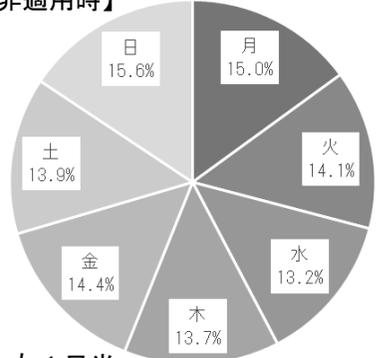
【非適用時】



【適用時】



【非適用時】



※各曜日とも1日当たりの割合を示した。

曜日別	全対象	適用	適用/ 全対象	受入	受入/ 適用	照会	受入/ 照会
月	484	26	5.4%	18	69.2%	58	31.0%
火	457	24	5.3%	18	75.0%	60	30.0%
水	418	13	3.1%	10	76.9%	34	29.4%
木	437	16	3.7%	15	93.8%	30	50.0%
金	577	27	4.7%	23	85.2%	60	38.3%
土	567	34	6.0%	24	70.6%	89	27.0%
日	508	29	5.7%	27	93.1%	56	48.2%
計	3,448	169	4.9%	135	79.9%	387	34.9%

※覚知基準

事故種別別	適用	非適用
急病	121 (71.6%)	2,175 (66.3%)
一般負傷	29 (17.2%)	616 (18.8%)
交通	13 (7.7%)	312 (9.5%)
上記以外	6 (3.6%)	176 (5.4%)
計	169 (100.0%)	3,279 (100.0%)

程度別	適用	非適用
重症以上	9 (5.3%)	120 (3.7%)
中等症	72 (42.6%)	1,097 (33.5%)
軽症等	88 (52.1%)	2,062 (62.9%)
計	169 (100.0%)	3,279 (100.0%)

年齢別	適用	非適用
75歳以上	74 (43.8%)	1,297 (39.6%)
65~74歳	18 (10.7%)	499 (15.2%)
15~64歳	75 (44.4%)	1,251 (38.2%)
14才以下	2 (1.2%)	232 (7.1%)
計	169 (100.0%)	3,279 (100.0%)

初診時診断名	人数
打撲・挫創	30
意識障害	15
肺炎	10
腰背部痛	10
心疾患・不整脈	8
頭頸部痛・損傷	8
呼吸苦	7
腹痛	7
四肢痛	6
発熱	6
胸痛	6
骨折	6
消化管出血	5
脳疾患	5
鼻出血	5
めまい	5
泌尿器	4
アルコール中毒	4
大血管	3
脱力	3
過呼吸	3
血糖	3
喘息	2
動悸	2
吐血	2
その他	9
計	169

全対象数 [A+C+D]…①	35,190	※救急急が医療機関を照会し選定したもののみが対象(家族等による連絡済み、転院搬送等は除外)		
受入確保基準適用 [A+B]…②	1,654	適用率 [②/①]	4.70%	参考:協力8医療機関受入率
6医療機関受入数 [A]…③	1,308	受入率 [③/②]	79.1%	[(③+E)/②] 87.8%

※速報のため、各数値が一致しない場合あり

【受入確保基準適用】 ※12回以上は手入力

[照会数]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	計
みつわ台総	0	0	4	14	314	176	88	45	19	3	3	1	667
千葉市立青	0	0	15	14	348	232	114	58	33	8	3	1	826
千葉メディ	0	0	11	16	218	176	79	37	17	5	0	2	561
千葉中央メ	0	0	6	12	228	113	105	65	22	9	2	1	563
千葉市立海	0	0	5	14	353	102	60	34	32	9	2	3	614
千葉医療セ	0	1	0	3	82	63	39	20	6	1	0	1	216
計	0	1	41	73	1,543	862	485	259	129	35	10	9	3,447

※千葉医療セは11月から参画。

※12回18件、13回8件、14回7件、15回1件、16回3件、17回1件、19回1件、21回1件

[受入数]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	計
みつわ台総	0	0	1	9	156	81	42	20	8	0	1	0	318
千葉市立青	0	0	4	4	189	122	58	32	17	4	1	0	431
千葉メディ	0	0	3	3	48	27	12	3	3	0	0	0	99
千葉中央メ	0	0	1	8	94	43	33	17	8	1	0	0	205
千葉市立海	0	0	3	4	118	29	14	9	6	2	2	0	187
千葉医療セ	0	1	0	0	27	20	10	8	2	0	0	0	68
計	0	1	12	28	632	322	169	89	44	7	4	0	1,308
上記以外 *1	0	0	1	6	12	40	57	56	55	46	33	40	346
うち2病院*2	0	0	1	4	7	10	22	17	21	26	19	18	145

*1 基準適用時受入不可でその後受入可の場合はここに計上 *2 県救急・千葉大(手入力)

[受入率]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	計
みつわ台総	-	-	25.0%	64.3%	49.7%	46.0%	47.7%	44.4%	42.1%	0.0%	33.3%	0.0%	47.7%
千葉市立青	-	-	26.7%	28.6%	54.3%	52.6%	50.9%	55.2%	51.5%	50.0%	33.3%	0.0%	52.2%
千葉メディ	-	-	27.3%	18.8%	22.0%	15.3%	15.2%	8.1%	17.6%	0.0%	-	0.0%	17.6%
千葉中央メ	-	-	16.7%	66.7%	41.2%	38.1%	31.4%	26.2%	36.4%	11.1%	0.0%	0.0%	36.4%
千葉市立海	-	-	60.0%	28.6%	33.4%	28.4%	23.3%	26.5%	18.8%	22.2%	100.0%	0.0%	30.5%
千葉医療セ	-	100.0%	-	0.0%	32.9%	31.7%	25.6%	40.0%	33.3%	0.0%	-	0.0%	31.5%
計	-	100.0%	29.3%	38.4%	41.0%	37.4%	34.8%	34.4%	34.1%	20.0%	40.0%	0.0%	37.9%

※覚知基準 適用/全対象 ↓ 受入/適用 ↓ 受入/照会 ↓

[適用時照会]	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	時間帯	全対象	適用	率	受入	率	照会	率
みつわ台総	334	178	94	46	14	1	0-2	2,448	234	9.6%	178	76.1%	500	35.6%
千葉市立青	380	243	118	56	27	1	3-5	2,227	195	8.8%	163	83.6%	398	41.0%
千葉メディ	233	195	75	36	18	2	6-8	4,528	164	3.6%	132	80.5%	339	38.9%
千葉中央メ	244	118	108	66	21	5	9-11	5,758	125	2.2%	101	80.8%	225	44.9%
千葉市立海	372	109	58	34	33	6	12-14	5,298	145	2.7%	109	75.2%	326	33.4%
千葉医療セ	89	61	41	16	6	2	15-17	5,283	252	4.8%	198	78.6%	503	39.4%
計	1,652	904	494	254	119	17	18-20	5,503	278	5.1%	221	79.5%	592	37.3%
割合	48.0%	26.3%	14.4%	7.4%	3.5%	0.5%	21-23	4,145	261	6.3%	206	78.9%	566	36.4%
計								35,190	1,654	4.7%	1,308	79.1%	3,449	37.9%

[適用時受入]	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	※覚知基準	適用/全対象 ↓	受入/適用 ↓	受入/照会 ↓				
みつわ台総	165	84	45	19	5	0	曜日	全対象	適用	率	受入	率	照会	率
千葉市立青	202	124	60	31	14	0	月	5,159	214	4.1%	163	76.2%	463	35.2%
千葉メディ	52	29	13	3	2	0	火	4,968	208	4.2%	172	82.7%	401	42.9%
千葉中央メ	100	47	34	17	7	0	水	4,790	183	3.8%	142	77.6%	386	36.8%
千葉市立海	125	29	15	9	8	1	木	4,934	209	4.2%	168	80.4%	444	37.8%
千葉医療セ	28	20	11	6	2	1	金	4,848	223	4.6%	181	81.2%	440	41.1%
計	672	333	178	85	38	2	土	5,106	309	6.1%	246	79.6%	666	36.9%
割合	51.4%	25.5%	13.6%	6.5%	2.9%	0.2%	日	5,385	308	5.7%	236	76.6%	649	36.4%
計								35,190	1,654	4.7%	1,308	79.1%	3,449	37.9%

【受入確保基準非適用】 ※12回以上は手入力

[照会数]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	計
みつわ台総	3,170	1,577	897	424	6	4	2	0	2	3	1	0	6,086
千葉市立青	1,661	1,199	819	476	17	9	7	5	5	6	6	1	4,216
千葉メディ	3,964	1,623	767	298	10	7	2	6	0	2	0	0	6,680
千葉中央メ	2,738	1,315	828	408	4	3	5	4	0	1	0	2	5,308
千葉市立海	3,073	964	369	171	5	3	2	0	0	2	0	2	4,591
千葉医療セ	1,652	512	243	150	17	14	15	11	15	28	5	6	2,668
小計	16,258	7,190	3,923	1,927	59	40	33	26	22	42	12	17	29,549
上記以外	18,932	5,996	2,841	1,760	211	153	135	127	104	69	66	92	30,486

※12回22件、13回8件、14回8件、15回1件、16回4件、17回1件、19回1件、21回1件

[受入数]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	計
みつわ台総	2,426	1,007	521	267	2	0	0	0	2	1	0	0	4,226
千葉市立青	1,089	659	432	288	5	3	5	2	4	6	6	4	2,503
千葉メディ	1,902	560	219	75	1	0	1	3	0	1	0	0	2,762
千葉中央メ	1,856	660	414	213	1	3	0	1	0	0	0	0	3,150
千葉市立海	2,201	538	169	83	1	2	1	0	0	2	0	1	2,998
千葉医療セ	1,148	275	105	67	11	10	6	7	6	19	3	6	1,663
小計	10,622	3,699	1,860	993	21	18	13	13	12	29	9	13	17,302
上記以外	11,381	2,682	1,173	926	105	62	59	55	53	22	29	33	16,580

※左表の*1(B)は上の2表にも計上

[受入率]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	計
みつわ台総	76.5%	63.9%	58.1%	63.0%	33.3%	0.0%	0.0%	-	100.0%	33.3%	0.0%	-	69.4%
千葉市立青	65.6%	55.0%	52.7%	60.5%	29.4%	33.3%	71.4%	40.0%	80.0%	100.0%	100.0%	66.7%	59.4%
千葉メディ	48.0%	34.5%	28.6%	25.2%	10.0%	0.0%	50.0%	50.0%	-	50.0%	-	0.0%	41.3%
千葉中央メ	67.8%	50.2%	50.0%	52.2%	25.0%	100.0%	0.0%	25.0%	-	0.0%	-	100.0%	59.3%
千葉市立海	71.6%	55.8%	45.8%	48.5%	20.0%	66.7%	50.0%	-	-	100.0%	-	50.0%	65.3%
千葉医療セ	69.5%	53.7%	43.2%	44.7%	64.7%	71.4%	40.0%	63.6%	40.0%	67.9%	60.0%	100.0%	62.3%
小計	65.3%	51.4%	47.4%	51.5%	35.6%	45.0%	39.4%	50.0%	54.5%	69.0%	75.0%	76.5%	58.6%
上記以外	60.1%	44.7%	41.3%	52.6%	49.8%	40.5%	43.7%	43.3%	51.0%	31.9%	43.9%	35.9%	54.4%

【全対象照会受入状況】 ※平均照会数(全体)は(a+c+d)/①で算出

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	計
全体	22,003	6,382	3,045	1,947	758	402	241	157	109	58	42	46	35,190
割合	62.5%	18.1%	8.7%	5.5%	2.2%	1.1%	0.7%	0.4%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	平均
累計割合	62.5%	80.7%	89.3%	94.8%	97.0%	98.1%	98.8%	99.3%	99.6%	99.7%	99.9%	99.9%	1.80
重症以上	847	229	89	36	19	7	11	3	4	0	2	1	1,248
割合	67.9%	18.3%	7.1%	2.9%	1.5%	0.6%	0.9%	0.2%	0.3%	0.0%	0.2%	0.1%	平均
累計割合	67.9%	86.2%	93.3%	96.2%	97.8%	98.3%	99.2%	99.4%	99.8%	99.8%	99.9%	100.0%	1.62
中等症	6,767	2,024	1,125	768	326	188	120	86	53	36	27	29	11,549
割合	58.6%	17.5%	9.7%	6.6%	2.8%	1.6%	1.0%	0.7%	0.5%	0.3%	0.2%	0.3%	平均
累計割合	58.6%	76.1%	85.9%	92.5%	95.3%	97.0%	98.0%	98.7%	99.2%	99.5%	99.7%	100.0%	2.00
軽症等	14,389	4,129	1,831	1,143	413	207	110	68	52	22	13	16	22,393
割合	64.3%	18.4%	8.2%	5.1%	1.8%	0.9%	0.5%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	平均
累計割合	64.3%	82.7%	90.9%	96.0%	97.8%	98.7%	99.2%	99.5%	99.8%	99.9%	99.9%	100.0%	1.71
≥5回	全体	1,813	5.15%	全体	412	1.17%	全体	146	0.41%				
重症以上	47	3.77%	重症以上	10	0.80%	重症以上	3	0.24%					
中等症	865	7.49%	中等症	231	2.00%	中等症	92	0.80%					
軽症等	901	4.02%	軽症等	171	0.76%	軽症等	51	0.23%					

● 千葉市立青葉病院

意見の有無	<p>「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 意見あり ・ <input type="checkbox"/> 意見なし</p> <p>(いずれかを○でお囲みください。)</p>
意見内容	<p>以下について検討が必要かと思われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 搬送困難の要因分析とその対策について ・ 受入病院側の受入困難の原因について <p>〔意見がある場合には、御記入ください。〕</p>

● 千葉市立海浜病院

意見の有無	<p>「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、</p> <p>意見あり ・ <input checked="" type="checkbox"/> 意見なし</p> <p>(いずれかを○でお囲みください。)</p>
意見内容	<p>今後ともよろしく願いたします。</p> <p>〔意見がある場合には、御記入ください。〕</p>

※ 手書きの意見書については、事務局で打ち直しています。

●千葉医療センター

<p>意見の有無</p>	<p>「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、</p> <p>意見あり ・ 意見なし</p> <p>(いずれかを○でお囲みください。)</p>
<p>意見内容</p> <p>〔意見がある場合には御記入ください。〕</p>	<p>回 答 待 ち</p>

●千葉中央メディカルセンター

<p>意見の有無</p>	<p>「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、</p> <p>意見あり ・ 意見なし</p> <p>(いずれかを○でお囲みください。)</p>
<p>意見内容</p> <p>〔意見がある場合には御記入ください。〕</p>	<p>回 答 待 ち</p>

※ 手書きの意見書については、事務局で打ち直しています。

●千葉メディカルセンター

●みつわ台総合病院

意見の有無	<p>「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、</p> <p>意見あり ・ <input checked="" type="radio"/> 意見なし</p> <p>(いずれかを○でお選びください。)</p>
意見内容	<p>〔意見がある場合には、御記入ください。〕</p>

意見の有無	<p>「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、</p> <p>意見あり ・ <input checked="" type="radio"/> 意見なし</p> <p>(いずれかを○でお選びください。)</p>
意見内容	<p>〔意見がある場合には、御記入ください。〕</p>

※ 手書きの意見書については、事務局で打ち直しています。

【参考】夜間内科二次救急体制運用状況（11～1月：平成30・31年度比較）

【新・夜間内科二次救急体制 運用状況】

2019/11/1～2020/1/31:速報値

消防局警防部救急課

※救急隊が照会したもの（転院搬送、家族等連絡済み等以外）

年月	搬送数	うち対象※	照会数	平均照会	上段：全照会状況（分子：受入数・分母：照会数） 中段（白抜き）：夜間内科二次分・下段：搬送困難事例分									
					17医療機関	うちA病院	うちB病院	当番計	二次	輪番外協力1（青葉）	輪番外協力2（中央メ）	輪番外協力3（みつわ）	輪番外協力4	輪番外協力5
2019年11月	1,831	1,656	3,475	2.10	1,039 / 2,303	908 / 1,932	131 / 371	494 / 1,082	322 / 665	39 / 99	133 / 318			
					90 / 283	90 / 283		252 / 536	196 / 415	15 / 31	41 / 90			
					47 / 123	28 / 57		14 / 27	5 / 39					
2019年12月	1,986	1,807	3,650	2.02	1,117 / 2,407	959 / 2,019	158 / 388	519 / 1,081	333 / 679	39 / 78	147 / 324			
					80 / 249	80 / 249		260 / 547	190 / 410	14 / 26	56 / 111			
					30 / 86	12 / 38		6 / 13	12 / 35					
2020年1月	1,981	1,776	3,917	2.21	1,090 / 2,575	955 / 2,202	135 / 373	596 / 1,367	335 / 728	38 / 90	125 / 354	98 / 195		
					117 / 397	117 / 397		260 / 616	187 / 417	4 / 26	37 / 115	32 / 58		
					61 / 197	26 / 70		12 / 26	9 / 64	14 / 37				
3か月計	5,798	5,239	11,042	2.11	3,246 / 7,285	2,822 / 6,153	424 / 1,132	1,609 / 3,530	990 / 2,072	116 / 267	405 / 996	98 / 195		
					287 / 929	287 / 929		772 / 1,699	573 / 1,242	33 / 83	134 / 316	32 / 58		
								138 / 406	66 / 165	32 / 66	26 / 138	14 / 37		



【参考・夜間内科二次救急体制 運用状況】

2018/11/1～2019/1/31:概数値

※救急隊が照会したもの（転院搬送、家族等連絡済み等以外）

年月	搬送数	うち対象※	照会数	平均照会	上段：全照会状況（分子：受入数・分母：照会数） 中段（白抜き）：夜間内科二次分・下段：搬送困難事例分									
					17医療機関	うちA病院	うちB病院	当番計	二次	輪番外協力1（青葉）	輪番外協力2（中央メ）	輪番外協力3（みつわ）	輪番外協力4	輪番外協力5
2018年11月	1,671	1,507	2,850	1.89	910 / 1,867	792 / 1,525	118 / 342	272 / 529	272 / 529					
					63 / 132	63 / 132		13 / 23	13 / 23					
2018年12月	1,876	1,695	3,363	1.98	992 / 2,183	834 / 1,760	158 / 423	273 / 638	273 / 638					
					85 / 205	85 / 205		20 / 37	20 / 37					
2019年1月	2,095	1,860	4,252	2.29	1,072 / 2,721	926 / 2,173	146 / 548	322 / 856	322 / 856					
					143 / 388	143 / 388		44 / 89	44 / 89					
3か月計	5,642	5,062	10,465	2.07	2,974 / 6,771	2,552 / 5,458	422 / 1,313	867 / 2,023	867 / 2,023					
					291 / 725	291 / 725		77 / 149	77 / 149					

【補足】 867人 × 58% = 503人

各日は電話照会の開始時刻を基準に18:00～翌日7:59で計算。
注：対象期間の末日のみ、23:59までに覚知したものが対象。（これ以降は翌月分として算出）

救急隊が照会したもの (転院搬送、家族等連絡済み等以外)		【計】				【二次】				【輪番外協力】						
		全照会		うち 夜間内科二次		全照会		うち 夜間内科二次		全照会		うち 夜間内科二次				
No.	医療機関名	当番 協力 回数	受入	照会	受入	照会	当番 回数	受入	照会	受入	照会	協力 回数	受入	照会	受入	照会
1	A 1	80	507	969	249	445	50	391	702	216	362	30	116	267	33	83
2	A 2	12	144	209	98	134	12	144	209	98	134	0	0	0	0	0
3	A 3	92	483	1,149	172	394	12	79	159	39	82	80	404	990	133	312
4	A 4	14	112	203	59	122	14	112	203	59	122	0	0	0	0	0
5	A 5	29	198	375	92	168	12	100	180	60	110	17	98	195	32	58
6	A 6	6	44	151	11	57	6	44	151	11	57	0	0	0	0	0
7	B 1	12	19	67	11	47	12	19	67	11	47	0	0	0	0	0
8	B 2	9	26	56	20	49	9	26	56	20	49	0	0	0	0	0
9	B 3	6	17	45	15	40	6	17	45	15	40	0	0	0	0	0
10	B 4	12	7	60	7	50	12	7	60	7	50	0	0	0	0	0
11	B 5	9	16	52	13	42	9	16	52	13	42	0	0	0	0	0
12	B 6	9	7	66	4	51	9	7	66	4	51	0	0	0	0	0
13	B 7	6	5	14	4	13	6	5	14	4	13	0	0	0	0	0
14	B 8	3	6	23	5	20	3	6	23	5	20	0	0	0	0	0
15	B 9	3	3	16	3	13	3	3	16	3	13	0	0	0	0	0
16	B 1 0	6	1	31	1	28	6	1	31	1	28	0	0	0	0	0
17	B 1 1	3	1	14	1	11	3	1	14	1	11	0	0	0	0	0
A病院計 (No. 1～6)		233	1,488	3,056	681	1,320	106	870	1,604	483	867	127	618	1,452	198	453
B病院計 (No. 7～17)		78	108	444	84	364	78	108	444	84	364	0	0	0	0	0
17医療機関計		311	1,596	3,500	765	1,684	184	978	2,048	567	1,231	127	618	1,452	198	453

【参考・夜間内科二次救急体制 医療機関別受入状況速報】

【参考】全搬送数 (夜間のみ)		全搬送	うち 救急隊 が照会
No.	医療機関名	受入	受入
1	A 1	659	591
2	A 2	360	330
3	A 3	520	490
4	A 4	401	370
5	A 5	677	647
6	A 6	435	393
7	B 1	131	119
8	B 2	56	52
9	B 3	45	35
10	B 4	19	14
11	B 5	39	31
12	B 6	75	67
13	B 7	12	11
14	B 8	52	39
15	B 9	12	9
16	B 1 0	20	20
17	B 1 1	30	27
A病院計 (No. 1～6)		3,052	2,821
B病院計 (No. 7～17)		491	424
17医療機関計		3,543	3,245
上記以外の医療機関		2,237	1,976
合計		5,780	5,221

救急隊が照会したもの (転院搬送、家族等連絡済み等以外)		【計】				【二次】				【輪番外協力】						
		全照会		うち 夜間内科二次		全照会		うち 夜間内科二次		全照会		うち 夜間内科二次				
No.	医療機関名	当番 協力 回数	受入	照会	受入	照会	当番 回数	受入	照会	受入	照会	協力 回数	受入	照会	受入	照会
1	A 1	50	378	639	0	0	50	378	639	0	0	0	0	0	0	0
2	A 2	12	105	165	0	0	12	105	165	0	0	0	0	0	0	0
3	A 3	12	68	184	0	0	12	68	184	0	0	0	0	0	0	0
4	A 4	14	91	171	0	0	14	91	171	0	0	0	0	0	0	0
5	A 5	12	59	153	0	0	12	59	153	0	0	0	0	0	0	0
6	A 6	6	53	144	0	0	6	53	144	0	0	0	0	0	0	0
7	B 1	12	17	94	0	0	12	17	94	0	0	0	0	0	0	0
8	B 2	9	16	66	0	0	9	16	66	0	0	0	0	0	0	0
9	B 3	6	11	42	0	0	6	11	42	0	0	0	0	0	0	0
10	B 4	12	17	82	0	0	12	17	82	0	0	0	0	0	0	0
11	B 5	9	16	80	0	0	9	16	80	0	0	0	0	0	0	0
12	B 6	9	5	48	0	0	9	5	48	0	0	0	0	0	0	0
13	B 7	6	3	8	0	0	6	3	8	0	0	0	0	0	0	0
14	B 8	3	2	19	0	0	3	2	19	0	0	0	0	0	0	0
15	B 9	3	1	9	0	0	3	1	9	0	0	0	0	0	0	0
16	B 1 0	6	1	56	0	0	6	1	56	0	0	0	0	0	0	0
17	B 1 1	3	1	14	0	0	3	1	14	0	0	0	0	0	0	0
A病院計 (No. 1～6)		106	754	1,456	0	0	106	754	1,456	0	0	0	0	0	0	0
B病院計 (No. 7～17)		78	90	518	0	0	78	90	518	0	0	0	0	0	0	0
17医療機関計		184	844	1,974	0	0	184	844	1,974	0	0	0	0	0	0	0

【参考】全搬送数 (夜間のみ)		全搬送	うち 救急隊 が照会
No.	医療機関名	受入	受入
1	A 1	704	631
2	A 2	302	273
3	A 3	525	492
4	A 4	372	341
5	A 5	489	460
6	A 6	392	355
7	B 1	128	112
8	B 2	45	42
9	B 3	40	32
10	B 4	30	26
11	B 5	40	32
12	B 6	72	59
13	B 7	12	11
14	B 8	58	46
15	B 9	17	16
16	B 1 0	26	22
17	B 1 1	31	24
A病院計 (No. 1～6)		2,784	2,552
B病院計 (No. 7～17)		499	422
17医療機関計		3,283	2,974
上記以外の医療機関		2,335	2,062
合計		5,618	5,036

注：転送時の場合、最終医療機関のみが計上されているため、転送元の医療機関は計上されていない。

注：収容決定時の照会時間を基準としているため各表との数値が一致しない場合あり。

報告2

令和元年主要業務（事後検証、指示・指導及び教育）の実施状況について

報告要旨

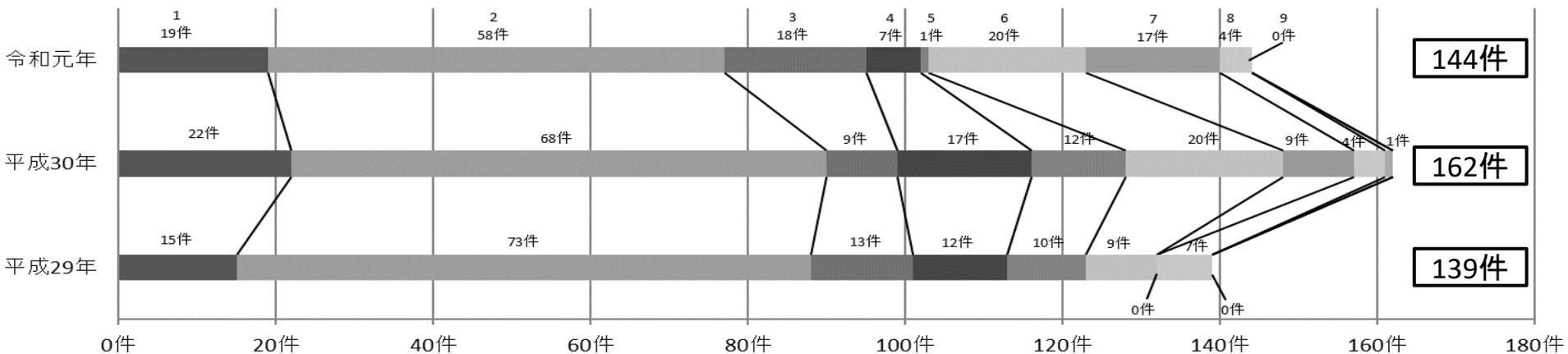
令和元年中の救急活動事後検証、指示・指導及び助言、救急隊員教育の実施状況について報告するものです。

- 資料2-1 救急活動事後検証の実施状況
- 資料2-2 指示・指導及び助言の実施状況
- 資料2-3 救急隊員教育の実施状況

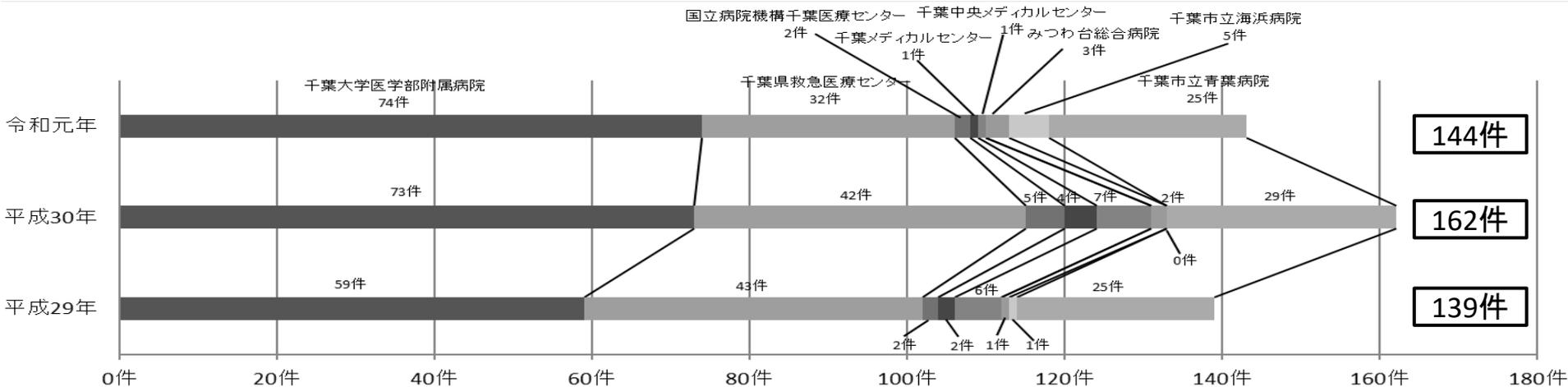
救急活動事後検証の実施状況(令和元年中)

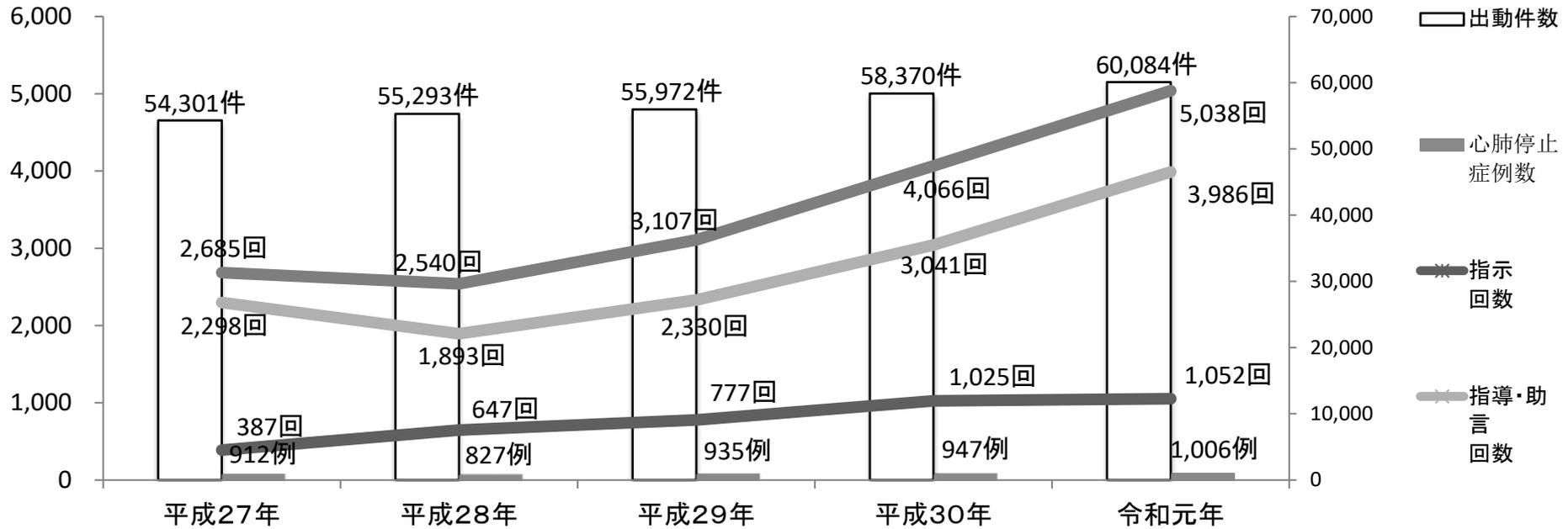
●検証対象区分別

1	2	3	4	5
目撃あり且つバイスタンダー処置があった症例	除細動・アドレナリン投与・気管挿管施行症例	外傷症例のうち意識レベルがJCS100以上又はショックの症例	心肺停止前の静脈路確保及び輸液施行症例	ブドウ糖溶液投与施行症例
6	7	8	9	10
医師が要検証と判定した症例	救急隊員が要検証と判断した症例	ヘリコプターによる救急活動症例	社会的影響が高いと認められる症例	所管課が検証を必要と認めた症例



●二次検証医療機関別





	指示回数	前年比	指導・助言回数	前年比	指示+指導・助言回数	前年比	出動件数	前年比	心肺停止症例数	前年比
平成27年	387回	1.3%	2,298回	32.8%	2,685回	27.1%	54,301件	2.5%	912例	1.4%
平成28年	647回	67.2%	1,893回	-17.6%	2,540回	-5.4%	55,293件	1.8%	827例	-9.3%
平成29年	777回	20.1%	2,330回	23.1%	3,107回	22.3%	55,972件	1.2%	935例	13.1%
平成30年	1,025回	31.9%	3,041回	30.5%	4,066回	30.9%	58,370件	4.3%	954例	2.0%
令和元年	1,052回	2.6%	3,986回	31.1%	5,038回	23.9%	60,084件	2.9%	1,006例	5.5%

	指示	指導・助言	医療機関交渉	合計
昼間帯	606回	2,013回	0回	2,619回
夜間帯	446回	1,973回	0回	2,419回
合計	1,052回	3,986回	0回	5,038回
1日平均	2.9回	10.9回	0回	13.8回

※ 昼間帯は8時00分から18時30分まで、夜間帯は18時30分から翌日8時00分まで
 ※ 「指導・助言」には、「報告」を含む。

まとめ

- ・ 「救急救命処置に対する指示回数」は、1,052回（1日平均2.9回）であり、前年と比較すると2.6%増加
- ・ 「指導・助言回数（報告含む）」は、3,986回（1日平均10.9回）であり、前年と比較すると31.1%増加



指示回数、指導・助言回数の増加は、特定行為の施行件数が増加したこと等が理由と考えられる。

令和2年1月末現在
 ※ 各実習の実習者数については、今年度内に実習修了予定の者を含む。

救急救命士就業前病院研修

- 実施期間
令和元年5月3日(金)から6月8日(土)まで
- 実施場所
千葉大学医学部附属病院、千葉県救急医療センター、青葉病院WS
- 研修者数
9人
 { うち、平成30年度救急救命士免許取得者：4人
 平成28年度救急救命士免許取得者※：5人 }
 ※ 平成28年度新規採用者

気管挿管病院実習

- 実施場所
千葉大学医学部附属病院、千葉医療センター、千葉メディカルセンター、みつわ台総合病院、青葉病院
- 実習者数
9人

AWS病院実習

- 実施場所
千葉大学医学部附属病院、千葉医療センター、みつわ台総合病院、千葉メディカルセンター
- 実習者数
7人

アドレナリン投与病院実習

- 実施場所
青葉病院WS
- 実習者数
9人

再教育病院実習

- 実施場所
・救急救命士：千葉大学医学部附属病院、みつわ台総合病院、千葉中央メディカルセンター、青葉病院WS
・救急救命士以外の救急隊員：青葉病院WS
- 実習者数
・救急救命士：123人
 { うち、青葉病院WS3当直：109人
 青葉病院WS以外の医療機関2当直+青葉病院WS1当直：14人
 (千葉大学医学部附属病院：1人、みつわ台総合病院：7人、
 千葉中央メディカルセンター：6人) }
 ・救急救命士以外の救急隊員：200人

各認定取得状況

- ・気管挿管認定・・・5人
- ・AWS認定・・・3人
- ・アドレナリン投与認定・・・10人
- ・処置範囲拡大二行為認定・・・10人

※ 前年度に実習等を受け今年度に認定を取得した者を含む。



現数

- 全救急救命士数・・・195人(うち、従事者132人)
- 気管挿管認定・・・105人(うち、従事者73人)
- AWS認定・・・87人(うち、従事者66人)
- アドレナリン投与認定・・・171人(うち、従事者130人)
- 処置範囲拡大二行為認定・・・163人(うち、従事者128人)